

# 社協 まるもり

編集・発行／社会福祉法人丸森町社会福祉協議会・広報委員会

TEL／0224-72-2241 FAX／0224-73-4151 所在地／981-2152 宮城県伊具郡丸森町字鳥屋48  
(丸森町保健センター内)

ホームページ／<http://www.town.marumori.miyagi.jp/syakyo/hp>

メールアドレス／[marumori-syakyo@town.marumori.miyagi.jp](mailto:marumori-syakyo@town.marumori.miyagi.jp)



## 主な内容

- ・平成29年度決算
- ・小学校福祉体験
- ・丸森たんぽぽこども園・大張児童館だより
- ・ボランティア通信

## かし〜なる七夕まつり

7月6日(金) 館矢間保育所で、一日早い七夕まつりが行われました。きれいな七夕飾りが風に揺れるなか、婦人会の方と一緒に夏野菜のカレーを作りました。保育所の畑で収穫した野菜はどれも新鮮で、ゴーヤが苦手と話していた子どもたちもおいしそうに食べていました。

住民参加による福祉の町づくりを推進しよう！

# 平成29年度 社会福祉協議会決算報告

## 資金収支計算

### 収 入

単位：円

勘定科目	地域福祉事業	指定管理事業	認定こども園	新認定こども園	合 計
事業活動による収入	50,427,769	9,972,540	199,331,603	119	259,732,031
施設設備等による収入	0	0	0	247,593,010	247,593,010
その他の活動による収入	0	2,075,613	51,026	400,000	2,526,639
前期末支払資金残高	9,561,509	0	35,595,370	0	45,156,879
総 収 入	59,989,278	12,048,153	234,977,999	247,993,129	555,008,559

### 支 出

単位：円

勘定科目	地域福祉事業	指定管理事業	認定こども園	新認定こども園	合 計
事業活動による支出	49,079,948	11,493,129	166,432,727	379,726	227,385,530
施設設備等による支出	108,000	0	4,056,367	247,593,010	251,757,377
その他の活動による支出	1,733,959	555,024	29,572,925	0	31,861,908
予 備 費	0	0	0	0	0
当期末支払資金残高	9,067,371	0	34,915,980	20,393	44,003,744
総 支 出	59,989,278	12,048,153	234,977,999	247,993,129	555,008,559

#### 社会福祉協議会の事業

- 法人運営
- 広報・啓発事業
- 助成事業
- 地域福祉事業
- ボランティアセンター運営
- 総合相談支援事業
- 福祉サービス総合支援事業
- 受託事業
- 資金貸付事業

#### 指定管理事業

- 大張児童館の管理運営  
幼児 10名
- 放課後児童健全育成事業  
(児童クラブ)  
学童 5名  
職員 5名

#### 丸森たんぽぽこども園

- 保育所型認定こども園事業  
保育園機能 172名  
幼稚園機能 15名
- 子育て支援センター事業
- 一時保育事業
- 病後児保育事業
- 幼稚園預かり保育事業
- 延長保育事業  
職員45名

#### 新認定こども園

- 平成31年度館矢間地区に開園を予定している新認定こども園の平成29年度分の建設費
- 総建設費 652,752,000円

## 貸借対照表

平成30年3月31日現在

資産の部			
勘定科目	平成29年度末	平成28年度末	増 減
流 動 資 産	63,417,288	55,156,982	8,260,306
固 定 資 産〈基本財産〉	360,951,475	388,260,860	△27,309,385
そ の 他 の 固 定 資 産	413,278,684	145,581,414	267,697,270
資 産 合 計	837,647,447	588,999,256	248,648,191
負債の部			
勘定科目	平成29年度末	平成28年度末	増 減
流 動 負 債	28,276,544	16,652,103	11,624,441
固 定 負 債	61,667,782	60,086,182	1,581,600
負 債 の 部 合 計	89,944,326	76,738,285	13,206,041
純資産の部			
基 本 金	1,000,000	1,000,000	0
基 金	12,633,846	12,633,846	0
国庫補助金等特別積立金	605,971,832	391,735,384	214,236,448
そ の 他 の 積 立 金	102,431,257	77,431,220	25,000,037
次期繰越活動増減差額	25,666,186	29,460,521	3,794,335
純 資 産 の 部 合 計	747,703,121	512,260,971	235,442,150
負債及び純資産の部合計	837,647,447	588,999,256	248,648,191

# みんなで育む!!福祉の心

『福』と『祉』には、幸せという意味があります。誰もが何の隔たりもなく暮らせる『しあわせの町』。それを築く誰にでもあるやさしさや気遣いをここでは福祉の心と表現しています。

## 福祉体験でやさしさを育てる

丸森町社会福祉協議会では、町内の学校を対象に福祉体験を実施しています。今年度に入ってから丸森小学校、館矢間小学校の2校から依頼があり、車イスや白杖体験、点字と手話の講師を招いての福祉学習も行いました。体験の中で障がいを持つ方々の生活の一端に触れることで、自分たちが何気なく生活している校舎内にある物理的な障害を感じたようです。車イスのタイヤが引っかかってしまう足拭きマットの小さな段差、多目的トイレの扉がなぜ引き戸になっている

のか、小学生ならではの視点からたくさん気づきを聞くことが出来ました。なかには、トイレの入り口を自動扉にしたらみんな使いやすいんじゃないかという意見も出てきました。

障がいは、特別なことではありません。誰もが事故や病気で障がい者になる可能性があります。誰もが住みやすい地域づくりの一步となるため、今後も社会福祉協議会では町内の各学校と連携して福祉教育に取り組んでいきます。



①白杖体験の様子  
②車イスで多目的トイレに入りました  
③車いすを横にしないと手が届きません  
④ひとつひとつ調べながら点字を打ちました  
⑤手話で自己紹介



丸森小学校4年生  
菊地 佑芽さん

わたしは、二日間のキャップハンディ体験の中で、白杖、車いす、点字、手話の体験をしました。特に印象に残ったことは、車いすでは、段差につまずき思うように動かすことが出来なかったことです。また、点字では読むことや、機械で文字を打つことがこんなに大変なんだということがわかりました。

この体験を通して、わたしたちが、どんな手助けができるか考えるきっかけになりました。丸森町にも、しょうがいのある人がいるので、見かけたら手助けをしてあげたいと思いました。



館矢間小学校6年生  
長谷部 有希さん

車椅子の体験を通して感じたことは、スロープがあっても腕の力がなくて上るのが難しいことです。ホール(木の板)の上では、少しずる感覚もありました。上りは前向きなので安心ですが、下りは後ろ向きなのでこわかったです。また、スロープがないと15cmくらいの段差でも移動ができないと思いました。学校にある多目的トイレは、車椅子に乗りながらでもいろいろと使いやすかったです。水飲み場では蛇口に手を伸ばすのが精一杯で、水を飲むことはできず、不便だと思いました。

白杖体験では、階段を上るのが大変でした。白杖を使うことで、どこまで階段があるのか調べられるので、とても役に立つと思いました。

今回のキャップハンディ体験では、車椅子や白杖を使って生活している人の気持ちが分かりました。これからの生活で見かけることがあったら、声を掛けたり手助けしたりしたいと思います。

# 丸森たんぽぽこども園だより



▲年長のお兄さんおみこし、かっこいいね



▲写真屋さんで「はい、ポーズ」

## 7月19-20日 こども園夏祭り会

みんなが楽しみにしていた夏まつり会が行われました。19日は法被を着てダンスを踊り、年長さん手作りのおみこしをみんなで担ぎました。酷暑の中、元気な掛け声が園内に響き渡りました。20日は、保育室がくじ引き、的あて、お面、写真屋さんに早変わりしました。5歳児が3・4歳児の手をつなぎ、3人一組で仲良くお店を回り、楽しいひと時を過ごしました。



▲3歳未満児さんも一緒に参加手作りお面、素敵でしょ



# 大張児童館だより



7月20日

## 児童館夏まつり会

今年は「Smile 満開!! ～笑顔の花咲く夏まつり～」をテーマに幼児がおみこしを担ぐ元気いっぱい掛け声で幕が上がりました。

大張小学校児童の迫力ある和太鼓演奏や地域の方も混ざっての盆踊りなど会場が一体となりました。夏の日差しに負けにくい熱く盛りあがった夏祭りになりました。



▲みんなでハイ、チーズ



▲みんなで「ワッショイ！」



▲おいしいなあ～

新しい認定こども園の名称は、“ひまわりのように明るく、元気な子どもたちの笑顔あふれるこども園に”との願いから  
**「丸森ひまわりこども園」**と命名いたしました。



本会が、館矢間まちづくりセンターの西隣に、平成31年4月に開園する新しい認定こども園（定員156名）の名称については、本年4月に町民のみなさんからの公募を行った結果、136件の応募がありました。誠にありがとうございました。

前回の「社協まるもり」でもお知らせいたしましたが、保護者とその他の関係者（地域、学校、ボランティア団体等）の皆様方から、広くご意見をいただき、認定こども園が子どもと保護者にとって最良の施設となるよう「認定こども園運営等に関する懇話会」を設置しております。そこでの話し合いの主な様子は次のとおりです。

- ・今以上に丸森の自然を思う存分体験できる、保育・教育を行っても良いのではないかと。
- ・地域の年輩者などから昔から代々伝わっている「伝統文化」などを教わる機会をさらに増やしたい。
- ・小学校生活が円滑に行くように更なる連携交流をしたい。
- ・ダンスは、中学校の保健体育の必修科目になったので、クラブ活動に取り入れても良いのではないかと。

乳幼児期の保育等の質によって、生涯にわたる人間の発達に影響するとの国内外の調査研究報告があります。また、認定こども園が「まちづくり」の一端を担うこともあり、このようなことを十二分に認識して今後も話し合いを行っていきます。

皆様方からのご意見をお待ちしております。

お問い合わせ  
丸森町社会福祉協議会事業局 TEL 87-8105





長谷部房子

趣味：大正琴・昔話の語り部  
好きな言葉は「相手の目線で」「ボランティアの輪を大切に」

## 新会長からの挨拶

丸森町ボランティア連絡会を菊地成孝会長の後を受け、会長を引き継ぐことになりました長谷部房子です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

諸先輩の方々が、長年にわたりご尽力され、今年で26年目を迎える歴史ある会を引き継ぎすることは身に余る思いです。改めて心より感謝申し上げます。

私のボランティア活動は、個人ボランティアから始まりました。その後、デイサービスボランティア「やまばと会」の会員の一人として活動し、平成21年にはやまばと会として、その地道な活動が認められ、厚生労働大臣から感謝状をいただくことができました。その後は、一歩踏み出して活動することの大切さを再確認し、楽しく活動を行ってきました。

丸森町も少子高齢化が進み、地域密着と住民共存のボランティアが必要とされていますので、共に支え合いながら前進したいと考えております。

今後も丸森ボランティア連絡会の皆様にはどうぞ厳しくも暖かいご指導を引き続きよろしくお願いいたします。

## 前会長からの挨拶

この始まりは、平成13年5月9日の総会に出席を促され、大内ボランティア会長に選出されました。夢中で1年が過ぎ、翌14年5月27日丸森町ボランティア総会で会長に承認されたことから、本格的なボランティア活動は始まりました。

丸森町ボランティア連絡会は現在、25団体と個人ボランティアを合わせると約500名の会員で構成されており、それぞれの地域に密接に関わり、ニーズに即した活動を果たされています。

仙南7町で構成される、仙南地方ボランティア連絡協議会では平成17年度より会長と事務局を各町持ち回りになってから丸森町では2回、事務局を担当しました。地域の特色を生かした研修会を開催し、参加者の方々からは良いお声を多く聞くことが出来たのも、ボランティア会員と各関係機関の皆様方のご指導とご協力の賜物だと深く感謝申し上げます。

また、私個人といたしましては、相棒のぜいご太郎ちゃんと一緒に町内外の様々な場所で腹話術を披露する機会をいただき、未熟な演技ながらも皆様に楽しんでいただきました。もっと腕を磨き今後も続けていきたいと思っております。

最後に、会員の皆様様の融和と親睦を図り、新役員の方々を中心に、ボランティア精神を発揮され、丸森町ボランティア連絡会の益々のご発展をご祈念しお礼申し上げます。



菊地 成孝

趣味：わら細工・写真・丸森の記事をスクラップすること  
好きな言葉は「和やかな中でも規律ある行動」

## 第2回丸森町ボランティア連絡会研修会 ～不思議がいっぱい、虫たちの世界～

7月20日(金)に丸森まちづくりセンターで丸森町ボランティア連絡会総会と研修会が行われました。

研修会では、大河原町文化協会会長の鈴木健司氏より「虫を追いかけて60年～虫からもらったビタミンG～」と題して、長年にわたる観察からわかってきた虫たちの命をつなぐ不思議な求愛行動について講演をしていただきました。

講師は自身の“ビタミンG(元気)”の源は虫への情熱であると述べたうえで、いつまでも好きなことを続けることの大切さを参加者に話し、丸森町ボランティア連絡会のさらなる発展に期待を寄せていました。



家族介護者  
交流サロン

## 「湯ったりおしゃべり交流会」開催のお知らせ

ご自宅で家族を介護している方の、心身のリフレッシュと情報交換等を目的とした交流会を下記のとおり開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

- 日 時** 平成30年9月1日(土) 9時15分～16時  
**場 所** 秋保温泉 「緑水亭」  
**内 容** 交流会、入浴・食事等  
**参加費** 2,000円



▲昨年の湯ったり交流会の様子

申込方法や詳細につきましては、8月1日の区長回覧にて別途お知らせします。

**お問合せ** 丸森町社会福祉協議会 TEL 72-2241 保健福祉課地域包括支援班 TEL 72-3023

## 第26回宮城シニア美術展作品募集

**募集対象** 日本画・洋画・書・写真・工芸の5部門

**テーマ** 自由

県内在住の60歳以上のアマチュアの方

**出展申込料** 1作品500円(出展は各部門1人1点)

**申込期間** 10月31日(水)まで

**展示会場** 宮城県美術館 県民ギャラリー

**展示期間** 平成30年11月29日(木)～12月2日(日) ※入場料無料

**審査** 各部門専任審査員が審査します。(表彰式あり)

優秀作品は平成31年開催予定の「第32回全国健康福祉祭」(ねんりんピック紀の国わかやま2019)美術展部門へ出展いたします。

**お申込み・お問合せ** 宮城県社会福祉協議会 いきがい健康課

TEL 022-223-1171



## あたたかい善意ありがとうございました。

「丸森町の福祉に役立ててください。」と次の方からご寄付をいただいておりますので、紹介します。(敬称略)  
(平成30年4月1日～7月18日)

### 物品寄附

・健心会 はがき 20枚

### 金銭寄附

#### ●個人

・佐々木 利幸 (丸森) ・山本 明德 (舘矢間)

#### ●団体

・健心会 ・舘矢間婦人会 ・丸森ライオンズクラブ ・食彩館 おおうち ・フォレスト合唱団

#### ●自動販売機募金

・船山建設株式会社	1,042円	・有限会社小野商店	2,090円
・有限会社佐藤製作所	2,218円	・有限会社みやぎダイキャスト	868円
・株式会社春日部組	788円	・みやぎ仙南農業協同組合	260円



# 弁護士による無料巡回相談のお知らせ

法律の専門相談の機会として、地域の皆さんが安心して暮らせるように、悩みごと・心配ごとについて弁護士がお受けいたします。(秘密厳守)

- 日 時** 平成30年9月5日(水) 午前10時～午後3時(1人30分まで)
- 場 所** 丸森まちづくりセンター
- 相談内容** 相続、財産、契約などの法律問題
- 定 員** 8名(先着順)
- 費 用** 無 料
- 申 込 み** 予約制ですので、8月28日(火)までお電話または直接本会窓口までお申込み下さい。  
丸森町社会福祉協議会 TEL 72-2241



# 生活困りごと相談所開設のお知らせ



住み慣れた地域で安心した生活が送れるように悩みや困りごとの解決策を一緒に考えます。お気軽にご相談ください。(相談無料)

日 程	時 間	場 所	相 談 員
10月30日(火)	10:00～12:00	丸森まちづくりセンター	門間郁子相談員
		館矢間まちづくりセンター	菊地友一相談員
	13:00～15:00	大張まちづくりセンター	岡崎俊範相談員
		耕野まちづくりセンター	工藤勝志相談員

**申込・お問い合わせ** 丸森町社会福祉協議会 TEL 72-2241

## 平成30年7月豪雨災害義援金募集

平成30年7月豪雨により、西日本を中心に甚大な被害が発生しています。  
丸森町共同募金委員会では、被災された方々への支援として、災害義援金を募集しています。町役場正面玄関及び町社協事務局に募金箱を設置していますので、皆様のご協力をお願いします。

## 評議員交代のお知らせ

評議員の交代がありましたのでお知らせします。(敬称略)

### 〈返任評議員〉

前山 拓  
(平成30年5月14日付け)

### 〈新任評議員〉

今野 方人  
(平成30年5月15日付け)

(任期 平成30年5月15日～平成32年度会計に関する定時評議員会最終結の時まで)

## 職員異動のお知らせ

### 〈退職職員〉

法人事務局

生活支援コーディネーター

荒井 美和  
(平成30年5月31日付け)

## 報 員

大槻 茂 ・ 菊地 清明  
佐々木 秀之 ・ 船山 和子  
森 浩 ・ 門間 郁子  
八島 勇雄